

ピースコミュニケーション財団 国連を支える世界こども未来会議

〈活動内容のご紹介〉



活動にいたるまでの流れ



2019

公認プログラム



2020
~
2023



beyond2020プログラム

「BEYOND 2020 NEXT FORUM」

業界を超えた有識者のメンバーを中心に、「これからの日本に必要な新しいモノやコトを創り出す『シーズ』を見つけ、イノベーションを起こす『場』の構築を目的として活動。

政府・東京都と連携



平井卓也
内閣府特命
担当大臣

小池百合子
東京都知事



別所哲也
俳優
国際短映画家
代表
映画プロデュー
サー



小山薫堂
放送作家
脚本家



朝日透
早稲田大
学
理工学術
院 教授



一木広治
(株)ヘッドラ
イン
代表取締役社長
早稲田大学研究
院客員教授



朝日透
早稲田大
学
理工学術
院 教授



朝日透
早稲田大
学
理工学術
院 教授



2022年4月から 『場』 からより進化し、プロジェクト開始・アウトプット創出へ

活動概要

発足からのあゆみ

2022年9月SDGs未来都市である豊島区、浜松市、大阪・関西万博開催地の大阪でスタートし、各地に拡大中。国連を支える世界子ども未来会議に参加する代表者を毎年選出していく。

- 2021年 3月27日 第1回子ども未来国連会議（外務省後援開始）
内閣府少子化担当（野田大臣）
- 2022年 3月26日 第2回子ども未来国連会議（外務省） 子ども家庭庁準備室
- 2023年 3月19日 第3回国連を支える世界子ども未来会議
- 2024年 ※国連本部認定によりタイトル変更（子ども家庭庁創設後援開始）
3月24日 第4回国連を支える世界子ども未来会議（東京都共催）
- 2025年 3月23日 第5回国連を支える世界子ども未来会議
8月6～7日 大阪・関西万博にて「FUTURE SUMMIT みらい総会」を開催
α世代に向けた万博機運醸成イベントとして内閣官房万博推進本部と連携
- 2026年 3月未定 第6回国連を支える世界子ども未来会議

SDGs達成目標 2026-2030においても毎年継続的に開催



国連を支える世界子ども未来会議（グローバル）
毎年3月開催

国内展開



プロジェクトの活動をメディアを通して発信しながら全国拡大中



全体の流れ

国内開催（各エリア）

（例）国連を支える世界子ども未来会議 in TOSHIMA

開催場所 豊島区役所
人数規模 50人規模
内容 第1部：ワークショップ
第2部：発表、SDGs講義



国内総会

毎年3月に開催（東京都共催）
後援 外務省/子ども家庭庁/内閣官房国際博覧会推進本部

開催場所 有楽町（Tokyo Innovation Base）
人数規模 90名
内容 第1部：SDGs講義、グループワークショップ
第2部：アイデア発表、エンタメコンテンツ



NY国連本部

代表キッズアンバサダーがNY国連本部に提言を届け、UNISとの連携による国連本部での世界子ども未来会議の実現

12名のキッズアンバサダーがNY国連本部を訪問

開催場所 UNIS・NY国連本部
内容 第1部 セレモニー
・キッズアンバサダーよりアイデアブック提出
・フォトセッション
・キッズアンバサダー-国連特別カリキュラム体験
第2部 世界子ども未来会議 in NY United Nations開催
・UNIS（100か国以上の子どもたち）との連携



2023年2月
ニューヨーク国連本部認定

未来を担う次世代（α世代）による **オンリーワン** の協創プロジェクト

全体スケジュール

FUTURE SUMMIT

みらい総会

こどもの人権／こどもまんなか社会に向けて

メタバースプロジェクト (活用した広がり)

国連日本政府代表部
United Nations International School
ピースコミュニケーション財団
協定締結

NY国連本部

2025年 5月

プロジェクト
発表



5月14日 UNISとの交流
5月15日 セレモニー&国連を支える世界子ども未来会議 in NY

NY国連本部
パンフレットの配布

NYメディアへの配信
週刊NY新聞 他

メディア) フジテレビニュース
MX「堀潤Live Junction」
デジタル) TOKYO HEADLINE WEB
Yahoo!ニュース/LINEニュース

オンライン

2025年 6月

ワークショップ

参加する子供たちへ
NTTメタバース活用を含めた
事前ワークショップ展開

大阪万博 OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO2025

2025年 8月

大阪・関西万博
国連を支える

世界子ども未来会議



5月下旬

7月

プロジェクト紹介
(※担当者
インタビュー含む)

朝日放送「おはよう朝日です」

関西テレビ放送「とれたてっ!」

ニュースリリースによる取材発信

2025年 9月~12月

2026年 1月~2月

国内展開 (10~12エリア予定)

豊島区、品川区、北区、稲城市(東京都)
鎌倉市(神奈川県)、浜松市(静岡県)、広島県、
松山市(愛媛県)、熊本県、豊見城市(沖縄県) ※福島県

2024年度 実施エリア (10か所)
計画段階 (7か所)



TOKYO
イノベーションベース
2025年 3月23日

キックオフ

国内総会アイデア意見交換
ワークショップ提言づくり

TOKYO HEADLINE
プロジェクト特集号
マイナビキッズアンバサダー紹介
NYキッズアンバサダーレポート
2024年国内代表作品紹介

マイナビキッズアンバサダー紹介映像



週刊少年ジャンプ「ロボコ」とのタイアップスタート

沖繩



国連を支える世界子ども未来会議 in NY United Nations 活動レポート①

<国連本部キッズカリキュラム>

キッズアンバサダーが国連本部内「Children's Corridor」にて、特別カリキュラムを体験。



国連を支える世界子ども未来会議 in NY United Nations 活動レポート①

<プロジェクト発表イベント>

United Nations International School (UNIS/100カ国1400人の生徒が在籍) と国連日本政府代表部との協力協定により、キッズアンバサダーが「第5回国連を支える世界子ども未来会議」で考えた平和実現と気候変動解決に向けたアイデアを発表。UNIS代表メンバーと議論を交わす国連を支える世界子ども未来会議 in NY United Nationsを実施・仕組化。



TOKYOでの発信の位置づけと全体図

CIFALとの協定によりアルファ世代へのカリキュラムとして展開



2025年5月31日「国連ユニタールCIFAL（シファール）ジャパン国際研修センター」（福島県いわき市）にて、連携協力に関する基本合意書を締結。

「国連を支える世界こども未来会議」

■（本会議の開催によって得られた成果）

- ①日本の教育で足りないと言われてきた『自分達で考え、仲間と話し合い、発表する』というカリキュラムの浸透。
- ②日本の国際的なプレゼンスが下がる中、国連本部で日本発のアルファ世代によるクリエイティブなプロジェクトとして評価。

■（子供たちの変化・可能性の広がり・成功体験による自己肯定感の向上）

- ①『自分達で考え、仲間と話し合い、発表する』経験そして、国内での様々なエリアの同世代との交流
- ②国連本部での体験、UNISとの交流によるグローバルな視点、未来に向けたチャレンジするマインド

■ **社会全体で子供の意見表明の機会を創出**

- ✓ ローカルレベルからグローバルレベルまで、様々な場面での機会の創出
- ✓ 行政・民間も含めた、様々なプレイヤーによる機会の創出

■ **世界に通用する人材の育成**

- ✓ 子供の時から、グローバルな場で様々な経験を積む機会の創出

現在、グローバルな環境下および、国連本部内でも日本のプレゼンスは下がっております。国連本部内で日本政府代表部が実施しているイベントは2025年は現時点で我々のプロジェクトしかないそうです。

次世代の日本の子供たちの未来に向けて日本のプレゼンスを上げていく機会を創出する為に、世界都市TOKYO（東京都）が様々な主体と連携した取組を推進されることを期待します。